

第25回土木史研究発表会

1. 主催：土木学会（担当：土木史研究委員会 <http://www.jsce.or.jp/committee/hsce/index.htm>）
2. 期 日：2005年6月18日（土）～19日（日）
3. 会 場：日本大学工学部（〒274-8501千葉県船橋市習志野台7-24-1、TEL:047-469-5239）

交通アクセス：

東京方面から

大手町・日本橋駅から35分（地下鉄東西線、東葉高速線直通、船橋日大前下車）
JRお茶の水駅から45分（JR総武線、西船橋から東葉高速線、船橋日大前下車）
JR東京駅から55分（JR総武線、津田沼から新京成線、北習志野下車 徒歩15分）

成田・千葉方面から

成田空港から60分（京成電鉄、勝田台から東葉高速線、船橋日大前下車）
JR千葉駅から40分（総武快速線、津田沼から新京成線、北習志野下車 徒歩15分）



4. 参加費：会員、非会員：2,000円

学生会員：1,000円

講演集 (Vol.25)：4,500円、論文集 (Vol.24)：2,000円。合冊では6,000円

※当日会場にて申し受けます。

5. 懇親会：1) 日 時：2005年6月18日（土）17:30～
2) 会 場：13号館1階珈琲館
3) 参加費：4,000円程度を予定
4) 参加方法：当日会場にてお申し込み下さい。

6. プログラム:

◆6月18日(土)

時間	第1会場(1441室)	第2会場(1442室)	第3会場(1443室)
8:45	開会挨拶 土木史研究委員会委員長 伊東 孝		
9:00	【橋梁Ⅰ】 司会:佐々木葉(早稲田大学)	【交通Ⅰ】 司会:佐藤馨一(北海道大学)	【遺産Ⅰ】 司会:知野泰明(日本大学)
	1 江戸の組合橋の維持管理について P1 松村博	13 近代日本の港湾整備における2種類のケーソン技術の導入と展開 P89 加地美佐保・樋口輝久・馬場俊介	22 高知県;野中兼山の三叉遺産の利用 P157 宮崎裕梨・山崎利文・三本雄大・福井吉孝
	2 明治期東京の橋梁技術創成期と技術者群像—倉田良嗣と金井彦三郎に焦点をあてて— P9 伊東孝	14 石狩湾新港の建設に伴う用地買収と漁業補償の成立過程について P101 田中實・戸巻昭三	23 郡築二番町樋門・三番町樋門の現状と修復・補強手法の提案 P161 川越浩正・平嶋孝・山尾敏孝
	3 橋梁技術者小池啓吉の東京市における経歴と仕事 P19 白井芳樹	15 日本統治期南樺太(サハリン)における社会基盤整備に関する基礎研究 P113 今尚之・進藤義郎・原口征人	24 旧国鉄宮原線跡地の保存と活用について P171 永村景子・松尾和人・小林一郎・星野裕司・本田泰寛
10:40	4 震災復興橋梁における意匠の地理的分布に関する研究 P25 藤野聡史・窪田陽一・深堀清隆	16 サハリン地域における歴史的交通施設に関する研究 P117 宗広一徳	25 「近代土木遺産・親沢橋」の補修復元工事について P177 落合一視・小西純一
10:55	【橋梁Ⅱ】 司会:松村博(阪神高速道路管理技術センター)	【交通Ⅱ】 司会:為国孝敏(足利工業大学)	【遺産Ⅱ】 司会:北河大次郎(文化庁)
	5 東京奥多摩町・青梅街道の橋梁計画—鋼とコンクリートの時代 P37 紅林章史・前田研一・伊東孝	17 定山溪国道(一般国道230号定山溪—中山峠)の建設 P121 原口征人	26 近代土木遺産としての旧函館軍事要塞跡地の現状 P185 進藤義郎・大久保市郎・富岡由夫・小林竜太・朝倉啓仁
	6 多摩川万年橋架橋の背景と経緯 P49 昌子住江・野村慎三郎・堀川洋子	18 岡山市街地におけるロータリー式交差点に由来する円形状空間の独自性と その活用に関する研究 P123 北村尚子・樋口輝久・馬場俊介	27 明治期に建設された沿岸要塞の設計思想 P197 星野裕司・小林一郎
	7 旭川(岡山県)の橋と河港 P59 藤井郁夫	19 1950~60年代における交通事情との関係からみた路線バスの盛衰に関する一考察—群馬県上毛電鉄沿線から赤木山南麓地域のバス路線を事例として— P131 大島登志彦	28 インフラストラクチャーへの愛着に関する一考察—水辺の土木構造物に対する住民の認識から— P203 柴田久・田中尚人・足立健夫・出村嘉史
12:35	8 淡山疏水における石造拱橋の保存と活用—平木橋— P61 村瀬佐太美・神吉和夫・岸本一幸		29 ”遺跡”の観点からみた近代土木遺産の評価視点に関する一考察—近代発電ダムの「地域への影響」に着目して— P211 堀川洋子・伊東孝
13:45	開催校企画講演:土木史のひとつの展開—CST MUSEUM(日本大学理工学部科学技術史資料センター)と所蔵資料		
	CST MUSEUM誕生までの経緯 p513 高田邦道		
	八十島義之助文庫の概要 p515 五海老正和・伊東孝		
	CST MUSEUM誕生における科学技術史料情報化についての報告 p521 岡田智秀		
	都市計画家 笠原敏郎博士(1882~1969)について p531 宇於崎勝也		
	新谷洋二文庫の概要—新谷洋二先生 その時代・その仕事と史料群— p539 大沢昌玄・岸井隆幸		
15:05			
15:20	【橋梁Ⅲ】 司会:五十畑弘(日本大学)	【交通Ⅲ】 司会:小野田滋(鉄道総合技術研究所)	【用水・水道】 司会:藤井三樹夫(水環境研究所)
	9 19世紀フランスにおける鉄筋コンクリート橋の受容過程 P67 本田泰寛・小林一郎・ミシェル・コト	20 北海道における道路および鉄道路線の併行性の低下 P139 横平弘・劉志鋼	30 長坂用水・法師の隧道の土木技術評価 P223 北浦勝・大前明生・河原清・景山和也・池本敏和・安達寛
	10 ローベル・マイヤールの構造デザインと設計思想(その1) P73 鈴木圭	21 千葉県におけるわが国唯一の鉄道聯隊演習線—鉄道建設部隊と松戸線に着目して— P149 鶴岡智史・伊東孝	31 城下町金沢の惣溝掘について P223 池本敏和・北浦勝・安達寛・河原清・景山和也
	11 サンフランシスコ・オークランド・ベイ橋建設とチーフ・エンジニア、パーセルの P77 中川良隆		32 大谷口配水塔の設計と技術的特長 P231 窪田陽一・関田匡延・松田奉康・清水厚雄
17:00	12 カンチレバー橋の歴史 P85 三浦基弘・前田研一		33 神戸布引ダム改修と建設時の工法・材料について P241 中西敬次郎・中川広志・坂下良一・松下真

◆6月19日(日)

時間	第1会場(1441室)	第2会場(1442室)	第3会場(1443室)
9:00	【橋梁Ⅳ】 司会:中井祐(東京大学)	【都市Ⅰ】 司会:鈴木伸治(関東学院大学)	
	34 土木史料としての図面に関する調査研究 ―鋼橋を対象として― 五十畑弘 P247	47 足利市の都市計画行政の初期における区域決定に関する一考察 福島二郎・中川三朗 P347	
	35 近代化土木遺産としての明治橋 山口浩平・日野伸一・財津公明・岡崎文雄・田浦扶充子 P257	48 新宿副都心エリアの計画・設計の経緯と現状に関する研究 木下ユリ・佐々木葉 P353	
	36 現存する日本最古の鋼板桁道路橋 明治橋の構造・材料調査 杉原伸泰・中村聖三・中原智法・高林和生・山尾敏孝 P263	49 土地区画整理事業を活用した鉄道用地創出の変遷 大沢昌玄・会田裕一・岸井隆幸 P363	
10:40	37 旧国鉄根室本線新得―落合間(旧狩勝線)に現存する鉄道土木遺構群の現状調査―落合―狩勝信号場間特に狩勝信号場付近の遺構について― 葛西章・進藤義郎・今尚之・原口征人 P273	50 震災と復興をめぐる一考察 藤尾直史 P375	
10:55	【橋梁Ⅴ】 司会:藤井郁夫	【都市Ⅱ】 司会:昌子住江(関東学院大学)	【河川・湖沼】 司会:大熊孝(新潟大学)
	38 木造ボーストリングトラス橋について 安達實・石田博・西谷直人・門田信一・北浦勝 P281	51 来朝西洋人が見た幕末・明治期の日本都市風景 江戸/東京・大坂/大阪・京都を対象として 篠塚伸一・宮元大輔・福井恒明・篠原修 P379	62 沖野忠雄内務技監の治水思想 神吉和夫 P451
	39 我が国における明治期の近代的木造吊橋の展開(その1) ―木曾川及び天竜川水系における吊橋の変遷― 山根巖 P287	52 金沢城下における町人の外出行動の空間特性 馬場先恵子・浅野浩子 P391	63 魚沼山地の三紀層地すべり地帯における河川トンネル 岩屋隆夫 P455
	40 長野県統計書に見る明治・大正時代の長野県道路橋架設状況について 小西純一 P297	53 長崎唐人屋敷の範囲確定および敷地復元に関する研究 岡林隆敏・関曉麗・前川裕之・後藤恵之輔 P397	64 千曲川及び犀川流域において明治前半に施工された砂防施設について 山浦直人・小熊友和・小西純一 P463
12:35			65 防災・環境面から見た児島湖造成の多面的評価 三浦慎吾・風早淳平・樋口輝久・馬場俊介 P469
13:45	【石垣】 司会:北垣聰一郎(元・東大阪短大)	【公園・水辺】 司会:中村良夫(東京工業大学名誉教授)	【電力】 司会:松浦茂樹(東洋大学)
	41 城郭石垣構成要素の物性値の変化が石垣安定に与える影響 田中邦熙・新谷洋二 P307	54 公園管理事業の変遷に関する研究 青木勇輔・大沢昌玄・岸井隆幸 P405	66 発電事業に起因する社会的事件とその解決 本江裕之・高野哲男・安達實・北浦勝 P481
	42 個別要素法(DEM)による城郭石垣の変状に影響を及ぼす地盤条件に関する考察 森本浩行・西形達明・西田一彦・玉野富雄 P317	55 地方都市における市民の公園観の変遷 田中尚人・秋山孝正・古田壮志 P409	67 電力土木の歴史―第2編 電力土木人物史(その13) 稲松敏夫 P485
	43 仙台城跡大深沢流域の垂炭廃棄物調査について 松山正将・花潤健一・菊地清文・佐伯吉勝 P323	56 南湖公園の歴史的価値と松平定信の思想に関する研究 樺沢隆紀・藤田龍之・知野泰明 P413	68 中国合同電気の発電施設 ―恩原ダム・布江調整池・奥津調整池― 樋口輝久・馬場俊介 P497
15:25		57 水辺景観の認識に対する史的分析 ―長良川の水辺利用を通して― 二村春香・田中尚人・秋山孝正 P419	
15:40	【古代・測量史】 司会:伊東孝(日本大学)	【景観】 司会:田中尚人(岐阜大学)	
	44 邪馬台国その首都と版図 小合彬生 P327	58 旭川の河道変遷に伴う河川景観の変化 ―近年の治水事業とヤナギによる樹林化との関連― 渡辺敏・前野詩朗・馬場俊介 P423	
	45 六国史・風土記に見られる古代日本の土木事業に関する文献調査 鈴木達也・藤田龍之・知野泰明 P333	59 河川管理施設等構造令がもたらした土木遺産の保存に対する阻害要因 唐川洋二・樋口輝久・馬場俊介 P433	
	46 地籍測量史の研究 ―測量誤差の原因と地籍図の精度について― 築瀬範彦 P339	60 堺市灌漑用風車の経緯と現況に関する研究 花畑保志・岡田昌彰 P441	
17:20		61 社会資本の意匠 ―素材・形態・時代などへの適応する美― 吉原不二枝 P447	
17:30	総括および閉会挨拶 土木史研究編集小委員会委員長 北浦 勝		